

各研究科、専攻における受入れ可能人数

研究科名	専攻名	2024年度		2023年度		備 考
		修士・博士課程前期	博士課程後期	修士・博士課程前期	博士課程後期	
文学研究科	文明研究専攻	若干名	若干名	若干名	若干名	湘南キャンパス
	史学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名	
	日本文学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名	
	英文学専攻	若干名	0名	4名	2名	
	コミュニケーション学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名	
	観光学専攻	若干名		若干名		
政治学研究科	政治学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名	
経済学研究科	応用経済学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名	
法学研究科	法律学専攻	5名	3名	5名	3名	
人間環境学研究科	人間環境学専攻	若干名		若干名		
芸術学研究科	音響芸術専攻	若干名		若干名		
	造型芸術専攻	若干名		若干名		
体育学研究科	体育学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名	
健康学研究科	健康マネジメント学専攻	若干名		若干名		
理学研究科	数理学専攻	若干名		若干名		
	物理学専攻	若干名		若干名		
	化学専攻	若干名		若干名		
工学研究科	電気電子工学専攻	若干名		若干名		
	応用理化学専攻	若干名		若干名		
	建築土木工学専攻	若干名		若干名		
	機械工学専攻	若干名		若干名		
	医用生体工学専攻	若干名		若干名		
海洋学研究科	海洋学専攻	若干名		若干名		
医学研究科	看護学専攻	0名		若干名		
						伊勢原キャンパス
						静岡キャンパス
						伊勢原キャンパス

東海大学 各キャンパス所在地

湘南キャンパス 神奈川県平塚市北金目4丁目1番1号

- 小田急線東海大学前駅下車 徒歩約15分
- JR東海道線 平塚駅下車 東海大学行き、または秦野行きバス(約30分)にて東海大学正門前下車 徒歩約5分で南門に到着

静岡キャンパス 静岡県静岡市清水区折戸3-20-1

- JR東海道線 清水駅下車 三保ランド行き、三保車庫行き
または三保灯台行きバス(約20分)にて東海大学・国立海員学校前下車 徒歩約2分

伊勢原キャンパス 神奈川県伊勢原市下糟屋143

- 小田急線伊勢原駅下車 東海大学病院行きバス、または愛甲石田駅行き(約10分)で東海大学病院下車

文 学 研 究 科

2024年度カリキュラム表

■文明研究専攻

(博士課程前期)

文明理論研究1-1および文明研究法A、B、C、Dを必修とし、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	グナレバド	授業科目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必選	単位数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グナレバド	授業科目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必選	単位数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春学期	集中	秋学期	集中							春学期	集中	秋学期	集中
理論系科目	500	文明理論研究1-1		○	2	1				ヨーロッパ地域研究	500	ヨーロッパ文明研究1-1		×	2	1			
	500	文明理論研究1-2		×	2		1				500	ヨーロッパ文明研究1-2		×	2		1		
	500	文明理論研究2-1		×	2	1					500	ヨーロッパ文明研究2-1		×	2	1			
	500	文明理論研究2-2		×	2		1				500	ヨーロッパ文明研究2-2		×	2		1		
	600	文明理論演習1-1		×	2	1					500	ヨーロッパ文明研究3-1		×	2	1			
	600	文明理論演習1-2		×	2		1				500	ヨーロッパ文明研究3-2		×	2		1		
	600	文明理論演習2-1		×	2	1					600	ヨーロッパ文明演習1-1		×	2	1			
	600	文明理論演習2-2		×	2		1				600	ヨーロッパ文明演習1-2		×	2		1		
	600	文明理論演習2-2		×	2		1				600	ヨーロッパ文明演習2-1		×	2	1			
比較研究	500	比較文明学研究-1		×	2	1				600	ヨーロッパ文明演習2-2		×	2		1			
	500	比較文明学研究-2		×	2		1			600	ヨーロッパ文明演習3-1		×	2	1				
	600	比較文明学演習-1		×	2	1				600	ヨーロッパ文明演習3-1		×	2	1				
600	比較文明学演習-2		×	2		1			600	ヨーロッパ文明演習3-2		×	2		1				
現代文明研究	500	現代文明論研究1-1		×	2	1				500	日本文明研究1-1		×	2	1				
	500	現代文明論研究1-2		×	2		1			500	日本文明研究1-2		×	2		1			
	600	現代文明論演習1-1		×	2	1				500	日本文明研究2-1		×	2	1				
	600	現代文明論演習1-2		×	2		1			500	日本文明研究2-2		×	2		1			
科学・技術研究	500	科学論・技術論研究-1		×	2	1				500	日本文明研究3-1		×	2	1				
	500	科学論・技術論研究-2		×	2		1			500	日本文明研究3-2		×	2		1			
	600	科学論・技術論演習-1		×	2	1				600	日本文明演習1-1		×	2	1				
	600	科学論・技術論演習-2		×	2		1			600	日本文明演習1-2		×	2		1			
	500	科学史・技術史研究-1		×	2	1				600	日本文明演習2-1		×	2	1				
	500	科学史・技術史研究-2		×	2		1			600	日本文明演習2-2		×	2		1			
	600	科学史・技術史演習-1		×	2	1				600	日本文明演習3-1		×	2	1				
	600	科学史・技術史演習-2		×	2		1			600	日本文明演習3-2		×	2		1			
アジア地域研究	500	アジア文明研究1-1		×	2	1				500	アメリカ文明研究1-1		×	2	1				
	500	アジア文明研究1-2		×	2		1			500	アメリカ文明研究1-2		×	2		1			
	500	アジア文明研究2-1		×	2	1				500	アメリカ文明研究2-1		×	2	1				
	500	アジア文明研究2-2		×	2		1			500	アメリカ文明研究2-2		×	2		1			
	500	アジア文明研究3-1		×	2	1				500	アメリカ文明研究3-1		×	2	1				
	500	アジア文明研究3-2		×	2		1			500	アメリカ文明研究3-2		×	2		1			
	600	アジア文明演習1-1		×	2	1				600	アメリカ文明演習1-1		×	2	1				
	600	アジア文明演習1-2		×	2		1			600	アメリカ文明演習1-2		×	2		1			
	600	アジア文明演習2-1		×	2	1				600	アメリカ文明演習2-1		×	2	1				
	600	アジア文明演習2-2		×	2		1			600	アメリカ文明演習2-2		×	2		1			
	600	アジア文明演習3-1		×	2	1				600	アメリカ文明演習3-1		×	2	1				
	600	アジア文明演習3-2		×	2		1			600	アメリカ文明演習3-2		×	2		1			
ゼミナール科目	700	文明研究法A		○	1	1				700	文明研究法A		○	1	1				
	700	文明研究法B		○	1		1			700	文明研究法B		○	1		1			
	700	文明研究法C		○	1	1				700	文明研究法C		○	1	1				
	700	文明研究法D		○	1		1			700	文明研究法D		○	1		1			

(博士課程前期)

分野・領域	グナレバド	授業科目	受け入れ可能人数	必選	単位数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春学期	集中	秋学期	集中
臨床心理学コース 基幹科目	500	臨床心理学特論1		×	2	1			
	500	臨床心理学特論2		×	2			1	
	500	臨床心理面接特論1 (心理支援に関する理論と実践)		×	2	1			
	500	臨床心理面接特論2		×	2			1	
	500	臨床心理査定演習1 (心理的アセスメントに関する理論と実践)		×	2	1			
	500	臨床心理査定演習2		×	2			1	
	500	臨床心理基礎実習1		×	2	2			
	500	臨床心理基礎実習2		×	2			2	
	500	心理実践実習		×	10			集中	
	500	臨床心理実習1		×	2	2			
500	臨床心理実習2		×	2			2		

2024年度カリキュラム表

■ 観光学専攻

(修士課程)

観光学研究法A、B、C、Dを必修とし、併せて30単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	グナレバド	授業科目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必選	単位数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	グナレバド	授業科目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必選	単位数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春学期	集中	秋学期	集中							春学期	集中	秋学期	集中
						<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>観光総合理論</p> <p>500 観光総合理論研究1-1</p> <p>500 観光総合理論研究1-2</p> <p>500 観光総合理論研究2-1</p> <p>500 観光総合理論研究2-2</p> <p>500 観光総合理論研究3-1</p> <p>500 観光総合理論研究3-2</p> <p>600 観光総合理論演習1-1</p> <p>600 観光総合理論演習1-2</p> <p>600 観光総合理論演習2-1</p> <p>600 観光総合理論演習2-2</p> <p>600 観光総合理論演習3-1</p> <p>600 観光総合理論演習3-2</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>観光経営社会学</p> <p>500 観光経営社会理論研究1-1</p> <p>500 観光経営社会理論研究1-2</p> <p>500 観光経営社会理論研究2-1</p> <p>500 観光経営社会理論研究2-2</p> <p>600 観光経営社会理論演習1-1</p> <p>600 観光経営社会理論演習1-2</p> <p>600 観光経営社会理論演習2-1</p> <p>600 観光経営社会理論演習2-2</p> </div> </div>													
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>観光社会学</p> <p>500 観光社会学理論研究1-1</p> <p>500 観光社会学理論研究1-2</p> <p>500 観光社会学理論研究2-1</p> <p>500 観光社会学理論研究2-2</p> <p>600 観光社会学理論演習1-1</p> <p>600 観光社会学理論演習1-2</p> <p>600 観光社会学理論演習2-1</p> <p>600 観光社会学理論演習2-2</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>観光経済社会学</p> <p>500 観光経済社会理論研究1-1</p> <p>500 観光経済社会理論研究1-2</p> <p>500 観光経済社会理論研究2-1</p> <p>500 観光経済社会理論研究2-2</p> <p>600 観光経済社会理論演習1-1</p> <p>600 観光経済社会理論演習1-2</p> <p>600 観光経済社会理論演習2-1</p> <p>600 観光経済社会理論演習2-2</p> </div> </div>																			

文 学 研 究 科

經 濟 学 研 究 科

2024年度カリキュラム表

■ 応用経済学専攻

(博士課程後期)

全ての博士課程後期の学生は、基本研究分野のコースに関わらず各自が「先端研究」の2科目を1年次に履修し、「応用経済学先端演習1」を2年次に、「応用経済学先端演習2」を3年次にそれぞれ2科目ずつ必ず履修しなければならない。本研究科で博士の学位を取得するには、その他の科目と合わせて、48単位以上を修得し、博士論文審査ならびに最終試験に合格しなければならない。ただし、本専攻の博士課程前期修了者にあつては、当該課程において修得した単位のうち、博士課程後期における研究に必要と認められたものにつき、30単位までを上記の必要単位数（48単位以上）に含めることができる。

分野・領域	ナンバード	授業科目	必選	単位数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナンバード	授業科目	必選	単位数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
					春学期	集中	秋学期	集中						春学期	集中	秋学期	集中
理論系科目	800	経済理論先端研究1	×	2	1				経営システム	800	経営システム先端研究1	×	2	1			
	800	経済理論先端研究2	×	2			1			800	経営システム先端研究2	×	2			1	
	800	経営理論先端研究1	×	2	1												
	800	経営理論先端研究2	×	2			1										
情報関連分野	800	経済・経営情報先端研究1	×	2	1				現代企業論	800	現代企業先端研究1	×	2	1			
	800	経済・経営情報先端研究2	×	2			1			800	現代企業先端研究2	×	2			1	
経済政策	800	経済政策先端研究1	×	2	1				財務・会計	800	会計・財務先端研究1	×	2	1			
	800	経済政策先端研究2	×	2			1			800	会計・財務先端研究2	×	2			1	
経済システム	800	経済システム先端研究1	×	2	1				国際関連分野	800	国際経済・経営先端研究1	×	2	1			
	800	経済システム先端研究2	×	2			1			800	国際経済・経営先端研究2	×	2			1	
経済理論応用分野	800	応用経済学先端研究1	×	2	1				演習	800	応用経済学先端演習1(1)	○	2	1			
	800	応用経済学先端研究2	×	2			1			800	応用経済学先端演習1(2)	○	2			1	
										800	応用経済学先端演習2(1)	○	2	1			
										800	応用経済学先端演習2(2)	○	2			1	

法 学 研 究 科

2024年度カリキュラム表

■ 法学専攻

(博士課程後期)

研究指導教員の担当する法学研究演習3～6（計8単位）を必修として修得するほか、開講科目から40単位以上（総計48単位）を修得し、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。ただし、博士課程前期修了者にあつては当該課程において修得した単位のうち、博士課程後期における研究に必要なと認められたものについて、32単位までを上記必修修得単位に含めることができる。

分野・領域	ナンバード	授業科目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必修	単位数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナンバード	授業科目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必修	単位数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春学期	集中	秋学期	集中							春学期	集中	秋学期	集中
法哲学	800	法哲学特殊研究1		×	2	1				商法学	800	商法第一特殊研究1		×	2	1			
	800	法哲学特殊研究2		×	2			1			800	商法第一特殊研究2		×	2			1	
憲法学	800	憲法第一特殊研究1		×	2	1				知的財産権法学	800	商法第二特殊研究1		×	2	1			
	800	憲法第一特殊研究2		×	2			1			800	商法第二特殊研究2		×	2			1	
	800	憲法第二特殊研究1		×	2	1					800	知的財産権法特殊研究1		×	2	1			
	800	憲法第二特殊研究2		×	2			1			800	知的財産権法特殊研究2		×	2			1	
行政法学	800	行政法特殊研究1		×	2	1				労働法学	800	労働法特殊研究1		×	2	1			
	800	行政法特殊研究2		×	2			1			800	労働法特殊研究2		×	2			1	
租税法学	800	税法特殊研究1		×	2	1				国際法学	800	国際法第一特殊研究1		×	2	1			
	800	税法特殊研究2		×	2			1			800	国際法第一特殊研究2		×	2			1	
刑事法学	800	刑事法第一特殊研究1		×	2	1					法社会学	800	国際法第二特殊研究1		×	2	1		
	800	刑事法第一特殊研究2		×	2			1				800	国際法第二特殊研究2		×	2			1
	800	刑事法第二特殊研究1		×	2	1				800		法社会学特殊研究1		×	2	1			
	800	刑事法第二特殊研究2		×	2			1		800		法社会学特殊研究2		×	2			1	
	800	刑事法第三特殊研究1		×	2	1						800	法学研究演習1A		×	2	1		
	800	刑事法第三特殊研究2		×	2			1				800	法学研究演習1B		×	2	1		
民法学	800	民法特殊研究1		×	2	1				演習科目	800	法学研究演習2A		×	2			1	
	800	民法特殊研究2		×	2			1			800	法学研究演習2B		×	2			1	
民事訴訟法学	800	民事訴訟法第一特殊研究1		×	2	1					ゼミナール科目	800	法学研究演習3		○	2	1		
	800	民事訴訟法第一特殊研究2		×	2			1		800		法学研究演習4		○	2			1	
	800	民事訴訟法第二特殊研究1		×	2	1				800		法学研究演習5		○	2	1			
	800	民事訴訟法第二特殊研究2		×	2			1		800		法学研究演習6		○	2			1	

人間環境学研究科

芸 術 学 研 究 科

2024年度カリキュラム表

■ 造形芸術専攻

(修士課程)

必修・選択科目を通じて30単位以上（必修：14単位、選択：16単位）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該研究科が行う〔修士論文またはこれに代わる特定の課題についての研究成果〕の審査と最終試験に合格すること。

「美術学を選択する学生の修了要件」

美術学を選択する学生は、「美術学研究1～4」、「美術学研究演習1～4」、および「芸術学総合研究」を必修とする。

「デザイン学を選択する学生の修了要件」

デザイン学を選択する学生は、「デザイン学研究1～4」、「デザイン学研究演習1～4」、および「芸術学総合研究」を必修とする。

分野・領域	ナグレンバード	授業科目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必修	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグレンバード	授業科目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必修	単位数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
					春学期	集中	秋学期	集中							春学期	集中	秋学期	集中
美術学研究	700	美術学研究1	○	×	2	1			美術・デザイン 共通科目	600	造形芸術特講（絵画系A）	×	2	1				
	700	美術学研究2	○	×	2			1		600	造形芸術特講（絵画系B）	×	2				1	
	700	美術学研究3	○	×	2	1				600	造形芸術特講（彫刻系）	×	2				1	
	700	美術学研究4	○	×	2			1		600	造形芸術特講（美術史系）	×	2				1	
	700	美術学研究演習1	○	×	1	1				600	造形芸術特講（現代美術系）	×	2	1				
	700	美術学研究演習2	○	×	1			1		600	造形芸術特講（画像系）	×	2	1				
	700	美術学研究演習3	○	×	1	1				600	造形芸術特講（情報系）	×	2	1				
	700	美術学研究演習4	○	×	1			1		600	造形芸術特講（製品系）	×	2				1	
	デザイン学研究	700	デザイン学研究1	○	×	2	1				600	造形芸術特講（環境系）	×	2	1			
700		デザイン学研究2	○	×	2			1	600	造形芸術特講（社会系）	×	2				1		
700		デザイン学研究3	○	×	2	1			500	造形芸術理論特講（美学・哲学系）	×	2				1		
700		デザイン学研究4	○	×	2			1	500	造形芸術理論特講（材料系）	×	2				1		
700		デザイン学研究演習1	○	×	1	1			500	造形芸術理論特講（美術史系A）	×	2	1					
700		デザイン学研究演習2	○	×	1			1	500	造形芸術理論特講（美術史系B）	×	2				1		
700		デザイン学研究演習3	○	×	1	1			500	造形芸術理論特講（工芸系）	×	2	1					
700		デザイン学研究演習4	○	×	1			1	500	造形芸術理論特講（現代美術系）	×	2	1					
共通	600	芸術学総合研究	○	×	2	1			500	造形芸術理論特講（国際系）	×	2	1					
									500	造形芸術理論特講（情報系）	×	2				1		
									500	造形芸術理論特講（視覚表現系）	×	2				1		
									500	造形芸術理論特講（色彩系）	×	2	1					
									500	造形芸術理論特講（図像系）	×	2				1		
									500	造形芸術理論特講（アートマネジメント系）	×	2	1					
									500	造形芸術理論特講（メディアアート系）	×	2				1		
									500	造形芸術理論特講（社会系）	×	2	1					

芸 術 学 研 究 科

2024年度カリキュラム表

■ 体育学専攻 (博士課程前期)

修了要件には下記の要件をすべて満たすこと。

1. 「スポーツ科学総論A (文化社会科学・医科学)」 「スポーツ科学総論B (実践スポーツ科学)」 「体育・スポーツ科学研究法A」 「体育・スポーツ科学研究法B」 および研究指導を受ける教員が担当する「体育学研究1・2・3・4」を修得すること。
2. 合計30単位以上を修得すること。
3. 修士論文の審査、並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	ナグ ンバ ード	授 業 科 目	受 け 入 れ 可 能 人 数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)				分野・領域	ナグ ンバ ード	授 業 科 目	受 け 入 れ 可 能 人 数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中							春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
基礎科目	500	スポーツ科学総論A (文化社会科学・医科学)		○	2	1				実践スポーツ科学	500	実践スポーツ科学特論A (身体教育)		×	2	1			
	500	スポーツ科学総論B (実践スポーツ科学)		○	2			1			500	実践スポーツ科学特論B (健康教育)		×	2	1			
研究法	600	体育・スポーツ科学研究法A		○	2	1				500	実践スポーツ科学特論C (コーチング)		×	2	1				
	600	体育・スポーツ科学研究法B		○	2			1		500	実践スポーツ科学特論D (心理サポート)		×	2			1		
スポーツ文化社会科学	500	スポーツ文化社会科学特論A (哲学)		×	2	1				500	実践スポーツ科学特論E (武道)		×	2			1		
	500	スポーツ文化社会科学特論B (歴史学)		×	2	1				500	実践スポーツ科学特論F (アダブテッド)		×	2			1		
	500	スポーツ文化社会科学特論C (社会学)		×	2			1		500	実践スポーツ科学特論G (ウエルネス)		×	2	1				
	500	スポーツ文化社会科学特論D (心理学)		×	2			1		500	実践スポーツ科学特論H (マネジメント)		×	2			1		
	500	スポーツ文化社会科学特論E (政策)		×	2			1		500	実践スポーツ科学特論I (レジャー)		×	2	1				
	600	スポーツ文化社会科学演習A		×	2			1		600	実践スポーツ科学演習A		×	2			1		
	600	スポーツ文化社会科学演習B		×	2	1				600	実践スポーツ科学演習B		×	2	1				
スポーツ医科学	500	スポーツ医科学特論A (生理学)		×	2			1		600	実践スポーツ科学演習C		×	2			1		
	500	スポーツ医科学特論B (バイオメカニクス)		×	2			1		600	実践スポーツ科学演習B		×	2	1				
	500	スポーツ医科学特論C (医学)		×	2	1				700	体育学研究1		○	2	1				
	500	スポーツ医科学特論D (体力学)		×	2	1				700	体育学研究2		○	2			1		
	600	スポーツ医科学演習A		×	2	1				700	体育学研究3		○	2	1				
	600	スポーツ医科学演習B		×	2			1		700	体育学研究4		○	2			1		

2024年度カリキュラム表

■ 体育学専攻

(博士課程後期)

修了には下記の要件をすべて満たすこと。

1. 共通から「スポーツ科学研究理論」を含め4単位以上の修得および研究指導を受ける教員が担当する「体育・スポーツ科学特別研究1・2・3・4」を修得のこと。
2. 博士課程（前期）の単位と併せて合計46単位以上を修得すること。
3. 博士論文の審査、並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
					春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中
共 通	000	スポーツ科学研究理論	○	2	1			
	800	スポーツ科学研究法A	×	2			1	
	000	スポーツ科学研究法B	×	2			1	
専 門	800	高度スポーツ文化社会科学特講	×	2	1			
	800	高度スポーツ医科学特講	×	2	1			
	800	高度実践スポーツ科学特講	×	2	1			
	800	高度スポーツ文化社会科学演習	×	2			1	
	000	高度スポーツ医科学演習	×	2			1	
	000	高度実践スポーツ科学演習	×	2			1	
特 別 研 究	800	体育・スポーツ科学特別研究1	○	2	1			
	800	体育・スポーツ科学特別研究2	○	2			1	
	000	体育・スポーツ科学特別研究3	○	2	1			
	000	体育・スポーツ科学特別研究4	○	2			1	

健 康 学 研 究 科

2024年度カリキュラム表

■ 健康マネジメント学専攻

(修士課程)

「基礎科目」8単位および研究指導教員が担当する「ゼミナール科目」8単位を必修、「専門科目(社会的健康領域)」より8単位を選択必修とする。その他、「専門科目(社会的健康領域)」、「専門科目(精神・身体的健康領域)」、「フィールドワーク科目」より6単位以上、合計30単位以上を修得し、修士論文の審査ならびに最終試験に合格すること。

分野・領域	ナグ ンレ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
						春学期	集中	秋学期	集中
基礎科目	500	健康学研究概論Ⅰ		○	2	1			
	500	健康学研究概論Ⅱ		○	2			1	
	500	量的研究法		○	2	1			
	500	質的研究法		○	2			1	
(社会的健康領域) 専門科目	500	健康社会特論		×	2	1			
	500	健康社会政策特論		×	2			1	
	500	地域健康政策特論		×	2	1			
	500	ソーシャルワーク特論		×	2	1			
	500	地域福祉特論		×	2	1			
	500	子ども家庭福祉特論		×	2	1			
	500	高齢者福祉特論		×	2	1			
(精神・身体的健康領域) 専門科目	500	精神保健福祉特論		×	2			1	
	500	障害者心理学特論		×	2	1			
	500	健康情報解析法特論		×	2			1	
	500	健康栄養・栄養学Ⅰ特論		×	2	1			
	500	応用健康科学特論		×	2			1	
	500	健康運動心理学特論		×	2			1	
	500	トレーニング科学特論		×	2			1	
ゼミナール 科目	700	健康学研究Ⅰ		○	2	1			
	700	健康学研究Ⅱ		○	2			1	
	700	健康学研究Ⅲ		○	2	1			
	700	健康学研究Ⅳ		○	2			1	
ド フ イ ー ク ル 目 的 科 目	700	フィールドワーク実習A		×	1		14		
	700	フィールドワーク実習B		×	1				14

理 学 研 究 科

理 学 研 究 科

2024年度カリキュラム表

■ 建築土木工学専攻

(修士課程)

必修基礎科目及び自己開拓科目14単位、領域共通発展科目及び領域別発展科目から22単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	ナグ レ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	専 攻 科 目				分野・領域	ナグ レ バ ー ド	授 業 科 目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必 選	単 位 数	開講期間 (1週単りのコマ数)				
						開講期間 (1週単りのコマ数)										春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中	
						春 学 期	集 中	秋 学 期	集 中											
必修基礎	500	工学倫理知財特論		○	2	1					600	シエル・空間構造計画特論		×	2	1				
	500	TECHNICAL ENGLISH FOR ENGINEERS		○	2	1					600	シエル・空間構造設計特論		×	2				1	
	500	建設マネジメント特論		○	2	1					600	建築構造設計特論・同演習		×	4	2				
領域共通発展科目	600	ENGLISH PRESENTATION FOR ENGINEERS		×	2				1		600	建築構造解析特論・同演習		×	4				2	
	600	建築非構造材料特論・同演習		×	4	2					600	建築構造特論・同演習		×	2	1				
	600	建築構造材料特別演習		×	2			1			600	建築構造材料特論		×	2	1				
	600	建築基礎設計特論・同演習		×	4			2			600	建築温熱環境計画特論		×	2	1				
	600	建築空間計画特論		×	2			1			600	建築視環境計画特論		×	2	1				
	600	建築家職能特論		×	2	1					600	建築設備システム設計特論・同演習		×	4	2				
	600	材料科学特論		×	2	1					600	建築パッシブシステム計画特論		×	2				1	
	600	コンクリート工学特論		×	2	1					600	空調システム計画特論		×	2				1	
	600	土質工学特論・同演習		×	4	2					600	建築室内環境計画特論・同演習		×	4				2	
	600	水環境学特論		×	2			1			600	居住環境計画特論		×	2	1				
	600	都市および地域計画特論		×	2	1					600	建築計画特論1・同演習		×	4	2				
	600	都市開発システム特論		×	2			1			600	建築計画特論2・同演習		×	4				2	
	600	交通計画特論		×	2	1					600	史的空間計画特論		×	2	1				
	領域別発展科目(土木工学)	600	応用力学特論		×	2	1					600	建築保存・修復計画特論		×	2				1
600		計算工学特論		×	2			1			600	建築施設計画特論		×	2				1	
600		連続体力学特論		×	2			1			600	建築設計スタジオ1		×	4	2				
600		応用水理学特論		×	2	1					600	建築設計スタジオ2		×	4				2	
600		衛生工学特論		×	2	1					600	建築設計スタジオ3		×	4	2				
600		統計学特論		×	2			1			600	建築インターンシップ1		×	4				54	
600		構造振動学特論		×	2			1			600	建築インターンシップ2		×	4				54	
600		維持・補修工学特論		×	2			1			600	建築インターンシップ3		×	4				54	
600		地盤工学特論		×	2			1			600	建築インターンシップ4		×	4				54	
600		海岸水理学特論		×	2			1			600	建築インターンシップ5		×	2				27	
											600	建築インターンシップ6		×	2				27	
											700	建築土木工学研究ゼミナール1		○	2	1				
											700	建築土木工学研究ゼミナール2		○	2					1
											700	建築土木工学研究ゼミナール3		○	2	1				
										700	建築土木工学研究ゼミナール4		○	2					1	

2024年度カリキュラム表

■ 医用生体工学専攻

(修士課程)

必修基礎科目及び自己開拓科目の16単位と、領域共通発展科目及び領域別発展科目から20単位以上、合計36単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

専攻科目								
分野・領域・科目	ナグ ンレ バ ー ド	授業科目	必 選	単 位 数	開講期間 (1週当りのコマ数)			
					春学期	集中	秋学期	集中
必修 基礎 科目	500	生体工学特論	○	2	1			
	500	生体システム特論	○	2	1			
	500	工学倫理知財特論	○	2			1	
	500	TECHNICAL ENGLISH FOR ENGINEERS	○	2	1			
領域 共通 科目	600	臨床工学特論	×	2	1			
	600	ENGLISH PRESENTATION FOR ENGINEERS	×	2			1	
	600	臨床工学インターンシップ1	×	2	2			
	600	臨床工学インターンシップ2	×	2			2	
(領域別 発展 科目 (工学系 領域))	600	生体情報科学特論	×	2	1			
	600	医用電子工学特論	×	2			1	
	600	生体材料科学特論	×	2	1			
	600	生体計測科学特論	×	2			1	
	600	生体機械工学特論	×	2	1			
	600	医用画像工学特論	×	2			1	
	600	放射線医学特論	×	2			1	
	600	生体制御工学特論	×	2			1	
	600	ヒューマンコンピュータインタラクション特論	×	2	1			
(領域別 発展 科目 (臨床系 領域))	600	呼吸循環系医工学特論	×	2	1			
	600	臨床薬理学特論	×	2			1	
	600	生体機能再建医工学特論	×	2	1			
自己 開 拓 科 目	700	医用生体工学研究ゼミナール1	○	2	1			
	700	医用生体工学研究ゼミナール2	○	2			1	
	700	医用生体工学研究ゼミナール3	○	2	1			
	700	医用生体工学研究ゼミナール4	○	2			1	

海 洋 学 研 究 科

2024年度カリキュラム表

■ 海洋学専攻
(修士課程)

総合海洋学科目群より必修科目「総合海洋学特論」を含め10単位以上およびすべての科目群の選択科目より14単位以上、必修科目「海洋学研究ゼミナール1」～「海洋学研究ゼミナール4」の8単位、合計32単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	ナグレンバード	授業科目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必選	単位数	専攻科目				分野・領域	ナグレンバード	授業科目	受け入れ可能人数 (科目ごとに人数の指定がある場合のみ)	必選	単位数	開講期間 (1週当りのコマ数)				
						開講期間 (1週当りのコマ数)										開講期間 (1週当りのコマ数)				
						春学期	集中	秋学期	集中							春学期	集中	秋学期	集中	
総合海洋学 科目群	500	総合海洋学特論		○	2	1		1		海洋生命圏 分野科目群	600	分子細胞生物学特論		×	2	1		1		
	500	沿岸環境特論		×	2	1					600	海洋生物化学特論		×	2	1		1		
	500	気候変動特論		×	2	1					600	水族生理学特論		×	2			1		
	500	海洋生態学特論		×	2		1				600	浮遊生物学特論		×	2	1				
	500	海洋総合管理特論		×	2	1					600	底生生物学特論		×	2	1				
	500	水産学特論		×	2	1					600	海棲哺乳類学特論		×	2			1		
	500	海洋資源特論		×	2	1					600	魚類学特論		×	2	1				
	500	海洋科学技術研究特論		×	2		14				600	資源生物学特論		×	2			1		
	500	環境生命科学特論		×	1			7			600	水産増殖学特論		×	2	1		1		
	500	アカデミックイングリッシュ		×	2	1		1			600	水産食品科学特論		×	2			1		
	500	海洋学特論A		×	1		7				海洋地球 圏分野科目群	600	大気・海洋物理学特論		×	2			1	
	500	海洋学特論B		×	1		7		600			地球化学特論		×	2			1		
	500	海洋学特論C		×	1			7				600	低次生産環境特論		×	2	1		1	
	500	海洋学特論D		×	1			7				600	固体地球物理学特論		×	2			1	
海洋人間 圏分野科目群	600	海洋人類学特論		×	2	1			研究ゼミ ナール	600	海底資源開発工学特論		×	2			1			
	600	海洋ガバナンス特論		×	2	1				600	海洋エネルギー工学特論		×	2			1			
	600	海洋資源管理特論		×	2		1			600	沿岸域工学特論		×	2			1			
	600	環境・開発経済特論		×	2		1			700	海洋学研究ゼミナール1		○	2	1		1			
	600	ロジスティクス特論		×	2		1			700	海洋学研究ゼミナール2		○	2	1		1			
	600	沿岸域管理特論		×	2	1				700	海洋学研究ゼミナール3		○	2	1		1			
	600	水産社会特論		×	2	1			700	海洋学研究ゼミナール4		○	2	1		1				

総合海洋学特論は1年次春セメに履修することが望ましい。